



3月18～20日に仙台市青葉区の仙台国際センターであった「第80回日本循環器学会学術集会」が約1万5000人の参加者を集めて仙台の交流人口の増加に貢献したとして、仙台市は会長を務めた東北大学大学院医学系研究科の下川宏明教授に感謝状を贈った。写真

交流人口増に貢献

—— 仙台

「い」と意気込みを語った。
(4月25日)

市役所での贈呈式で、伊藤敬幹副市長が感謝状を手渡した。学術集会は2015年4月にオープンした国際センター展示棟と、隣接する「せんだい青葉山交流広場」を会場に使用し、過去に市内で開かれた会議で最大規模となった。

下川教授は「交通の便や周辺環境の良さが参加者に好評だった」と振り返り、「この規模の会議が成功したことで、今後も仙台で会議を開こうという機運が高まるだろう」と話した。

伊藤副市長は「これまでは関東圏に取られていた国際会議の誘致も増やした

2016年（平成28年）5月8日（日）

河北新報朝刊

※転載許可取得済み